

輝け！

しるやま

第150号

城山高校便り
編集委員会〒781-5310
香南市赤岡町1612番地
高知県立城山高等学校
TEL 0887-55-2126
FAX 0887-55-0170

卒業に寄せて

高知県立城山高等学校校長
藤田 優子

三年次生の皆さん、ご卒業おめでとうござい
ます。皆さんは、高校の課程を修了し、めでたく卒
業の日を迎えられました。皆さんの卒業を心から
祝福します。

皆さんは、本校の校訓「教養ある人たれ」のも
と、学問を究め、道徳心を高め、感性を磨くべく、
それぞれが目標を定め、この学舎で三年間、学業、
学校行事、部活動等に全力を尽くし、充実した高
校生活を送ってきました。皆さんの胸中には三年
間のいろいろな思い出がよぎっていることと思
います。

皆さんはこれから社会に巣立っていきます。そ
んな皆さんに最後に伝えておきたいことが三つあ
ります。

一つ目は、「人に対するやさしい気持ち」。「豊か
な人間性」です。私たちの生活は技術の発展に伴
ってこれからの変化を遂げるでしょう。一方で、
世の中がどれほど物質的に豊かで便利になっても、
相手を思う気持ち、やさしさにおいて、人間は人
工知能に負けることはありません。人への思いや
りは相手を幸せにするだけでなく、自分自身も幸

せにします。これからの皆さんの人と出会うで
しょう。そして自分以外に大切にしなければなら
ない人ができる日も来るでしょう。その人たちがへ
のやさしい気持ち、豊かな心を大切に、かけがえ
のない人生を歩み続けてほしいと思っています。

二つ目は、「人とつながる心」です。人は強い信
頼関係で結びつく大きな力を発揮します。この
三年間でみなさんは友人、先輩、後輩、先生、地
域の人々など、実にたくさんの人に出会ってきた
と思います。一時的な時間と場所をともしただ
けではなく、いい人間関係をつくり、忘れられな
い思い出ができ、考え方に強く影響を与えた人も
いるでしょう。人と人が出会い、つながり合っ
て人間関係をつくり、そこから出来事がはじまり
ます。この三年間に会ったことに感謝し、これ
からも人とつながる心を大切に、新たな人間関係
を築いてほしいと思います。

三つ目は「志をしっかりともち、時間を大切に」
ということです。みなさんの高校生活は新型コロナ
ウイルスによる影響を受けました。マスクの着
用に加えて、日常生活にたくさんの方の制約があり、
学校行事や部活動の大会が縮小されたり、延期や
中止になったりしました。その中で城山高校は求
められる感染予防対策をとりながら「今できる最
大限の教育活動」を進めてきました。「新型コロナ
ウイルス」だからといって、何もしないことの言
い訳をするのは簡単です。しかしそれでやるべ
きことを見失ってしまうと、時間だけが流れて何
も進みません。新型コロナウイルスだけでなく、
巨大地震や暴風雨による災害のほか、未来には予

測もしないことが起こるかもしれません。平穏な
暮らしをしていた日常が一変して人々が命の危険
にさらされている国もあります。どんな状況であ
っても、たとえどんなに生活が厳しくても、自分
を見失わない、自分が大切にしたいことを投げ出
さないでほしいのです。そして時間を大切にしま
う。どうか、自分の未来、自分が大切にしま
いたいことをしっかりと描いて、それに向かって自
分の時間を大切に使うてほしいと思います。

さて、卒業証書には二つの日付が書かれていま
す。一つは、卒業式の日である「令和五年三
月一日」。そしてもう一つは、みなさんが生まれ
た日にちです。卒業証書は、この城山高校で三年
間学んだ証（あかし）ではありますが、同時にみ
なさんがこれまで生きてきた時の長さを刻んでい
ます。ぜひ、卒業証書を手にしたとき、そこに刻
まれた時間の長さだけでなく、その時間の中でみ
なさんの成長に関わったできるだけ多くの人に思
いはせてみてください。きっと家族や友人、先
生などたくさんの方の顔、そしてかけられたいろ
んな言葉が思い出されるはずです。そしてそこに刻
まれた「令和五年三月一日」という日付は、次の
「始まり」につながっています。卒業は高校生活
の終わりであるとともに、それに続く未来への始
まりでもあります。

これからの皆さんの活躍を期待しています。巣
立ちゆく卒業生の皆さんの未来が輝くことを心か
ら祈ります。

最後になりましたが、保護者等の皆様、お子様
のご卒業、誠におめでとうございます。これまで
本校の教育方針、教育活動に、深いご理解と力強
いご支援をいただきましたことに厚くお礼を申し
上げ、お祝いの言葉とします。



祝辞



PTA会長 小松 喜世子

春の訪れがまばゆい季節、卒業生の皆様、ならびに保護者の皆様、ご卒業誠にありがとうございます。

入学して早速、新型コロナウイルスの影響を受け、学校が休校になるなど、三年間コロナ禍の中で学校行事や部活動も思う様に出来ない日々が続きました。

三年次生の時に行われた文化祭でも、コロナの影響で一般公開が各家族二名までと人数制限される中、二つのグループに分かれて出し物についての話し合いをくり返し、本番に向けて団結して準備した事だと思えます。お菓子釣り、飴すくい、ビンゴ的当てゲーム、くじびき、お菓子販売、お弁当販売のグループ、謎解き脱出ゲーム、どのグループも工夫をこらし、参加者の方々に楽しんでもらいたいという思いが伝わってきました。

二年次で行く事ができなかった修学旅行も三年次で行く事ができました。しかし、コロナの終息していい中での決定は、先生方にとつて迷った末のことだったと思います。出発が近づくとつれて、感染者数が増加していく日が続き、先生方はもちろん保護者の皆さんも不安な気持ちになったのではないのでしょうか。空港に帰って来た時の元気な姿を見てホッとしたことでした。保護者以上に引率の先生方が安堵されたと思います。

最後のホームマッチではバドミントン、バレーボール、レクリエーションなど、一つひとつの種目に全力で取り組んでいる姿が目に見えます。三年次生は総合優勝をし、どの競技においても皆が団結して勝負を楽しむ姿は、最上級生らしい圧倒的な存在感を感じさせるものだったと聞いております。

三年間の部活動や学校行事などを通して、皆さんは日々成長し立派な最上級生となり、卒業という日を迎えました。これからそれぞれの道に進んでいく中で、皆さんには「夢」を持つてほしいと思います。夢を実現する為には努力が必要です。今後、皆さんが多くのことを経験する中で、時には思い通りにならなかったり、失敗したりすることもあるかもしれません。しかし、人は壁にぶつかることで、新たな気づきや反省点を見つけることができます。その経験が皆さんを強くしてくれることでしょう。どうか努力を惜しまず、夢に向かって歩んでいってください。そして、城山高校の同窓生の立場として在校生をはじめ、入学してくる生徒達の成長を見守ってください。よろしく願います。

最後になりますが、今日の良き日を迎えるために、三年間、親身になってご指導いただきました校長先生をはじめ、諸先生方には深く感謝申し上げます。本場にありがとうございました。私たちPTAも、在校生はもちろん、社会へ飛び立つ卒業生のことも、精一杯応援することをお約束して、お祝いの言葉とさせていただきます。



卒業生の皆様へ

校友会会長 北本 洋介

卒業生の皆さん、晴れてご卒業おめでとうございます。

又、ご家族の皆様におかれましても、お子様のご卒業 誠にありがとうございます。

心からお喜び申し上げます。

さて、私は五十数年前に卒業した高知県立城山高校 校友会長の北本洋介です。

高知県立城山高等学校をご卒業される皆さんは、高等学校の教育課程を修め、社会人として働かれる方や学業に専念され、新たな社会へ飛び立とうとしています。

しかしながら、世界中を脅威にさらしている「新型コロナウイルス感染」は未だ終息に至っておりませんが、本日この様に「卒業式」が、挙行されることに お祝いと励ましの言葉を申し上げます。

日本をはじめ、世界は今、「新型コロナウイルス」・「ロシアによるウクライナ侵攻」・「地球規模の気象変動」等の危機に直面しております。

様々な危機によって世界の政治・経済・安全保障情勢は一層目まぐるしく激変しています。

皆さんが、これから歩む道は、決して平坦な道ばかりではありません。多くの出会いと、一つひとつの努力の積み重ねが、いつか大きな実となることと信じています。

島崎藤村の詩の中に、川の流れと人生を重ね合わせた詩があります。

「行く川の 流れは絶えずして、よどみに浮かぶうたかたは、かつ消え かつ結びて 久しく とどまりたる ためしなし、人の世も 又 かくの如し。」



就 職	進 学	
エリエールペーパーテクノロジー株式会社 (紙加工機械オペレーター)	T i a c土佐情報経理専門学校 公務員ビジネス科	龍馬情報ビジネス&フード専門学校 公務員学科
高知スチロール株式会社 (製造スタッフ)	T i a c土佐情報経理専門学校 I Tビジネス科	龍馬情報ビジネス&フード専門学校 情報システム科
睦月電機株式会社 (製造スタッフ)	平成福祉専門学校 介護福祉学科	龍馬看護ふくし専門学校 子ども未来学科
高知トヨペット株式会社 (トヨタ神戸自動車大学校→整備スタッフ)	高知ペットビジネス専門学校 ペット美容コース	龍馬デザイン・ビューティ専門学校 マンガ学科
株式会社トヨタレンタリース西四国 (営業スタッフ)	土佐リハビリテーションカレッジ 理学療法学科	龍馬デザイン・ビューティ専門学校 建築・インテリア学科
	四国医療工学専門学校 臨床工学学科	高知福祉専門学校 こども福祉学科
	高知職業能力開発短期大学校 生産機械技術科	高知学園短期大学 幼児保育学科

3年次回の先生からメッセージ 「聖なる山様」

3年Aホーム担任 横山 直行

三年次生のみなさん、卒業おめでとうございます。みなさんは人生の節目を迎え、これから社会へと旅立とうとしています。人間の発達には生物学的側面、心理学的側面、および社会的側面があり、時間的経過を経て、成長、成熟、および社会的発達を遂げ、社会人として自立した「成人」へと近づいていきます。高校生までの学習は、社会人として自立した人間になっていくための、社会的役割を学習・習得していく過程であるといえます。

高校生活での思い出が今後、様々な場面で役に立つ事と思います。また、これからはそれぞれが違う道を歩めますが、高校を卒業したという事を、これからの人生の一つの自信に繋げて頂けたらと思います。

これからは社会的役割を遂行していく立場となります。周りの人との関わりの中で、少しずつ成長を遂げ自己実現を果たしてください。これからの活躍に期待します。

3年Bホーム担任 笹岡 ふき

卒業生の皆さん、保護者の方々、本日は卒業おめでとうございます。

皆さんとは一年間だけのお付き合いでしたが、進路のことで接する機会も多かったためか、様々なやり取りが思い出されます。初めての城山高

校で戸惑うことの多い私でしたが、先輩である皆さんが事あるごとに一から教えてくれ、そのお陰で何とかこの一年を乗り越えることができたと感じています。

わずか一年ではありますが、思い返せば色々な出来事がありましたね。授業やホームだけでなくホームマッチやホームデー、文化祭に修学旅行など、行事の際に見せる生き生きと活発に活動する姿に、人として大きく成長していることを実感しました。今後は、それぞれの道でこの学校で得たものを生かしながら、さらなる成長を遂げて欲しいと思います。

そんな皆さんに二つお願いがあります。一つはどうか自分を大事にして欲しいということです。駄目な自分もできない自分もそのまま大切で存在です。あなたの存在自体に大きな意義と価値があるのですから。

もう一つは、何事にも素直さと謙虚さをもって臨んで欲しいということです。人から何か注意や助言、依頼などをされた時には素直に「はい」と受け入れる。また、自分は間違っていないと思う時でも、一度謙虚に相手の気持ちになつて見方を変えて反省してみる。そうすれば多様なものの見方が身につくと同時に、どんな場所でも上手に生きていくことができるのではないのでしょうか。

今後の皆さんが周りの人々に愛され、未来が明るく幸せなものになりますよう、いつも心からお祈りしています。

3年Cホーム担任 岡村 志織

3年次生の皆さん、卒業おめでとうございませう。未知の感染症に世界中が大混乱し、社会活動の多くが停止する中入学した皆さんは、入学後すぐに休校になるという稀有な経験をするこ

とになりましたね。山崎先生と一緒に皆さんに電話を掛けたことを昨日のように思い出します。あれからもう3年がたち、今日の皆さんの顔はあどけなかつたあの頃から、精悍な青年の顔になっています。3年前に想像していた自分になっていますか？

2年次生からは担任という役目をいただき、Cホームの皆さんとは特に濃密な時間を過ごさせてもらいました。正直、苦しいことや悔しいこと、腹の立つことも多くありましたが、振り返るとやはり、皆さんと笑ったり、頑張ったりしたことばかりを思い出してしまいます。どんな時も一貫して「優しい」皆さんでした。その優しさは時に独善的だったり、自己中心的だったりもしましたが、学年を経るごとに本当の「優しさ」を身につけてきたように思います。そしてその「優しさ」はこれから、自分やその周りの人を助ける強い力となることでしょう。

さて、皆さんはこれから、成人として社会へ羽ばたくわけですが、きつと楽しいことばかりではないでしょう。そして、自分一人の力でそれを乗り越えるよう求められることも多いと思います。私は、そんな時「おかあさんといっしょ」の「ぼよん行進曲」を脳内で再生します。「どんな大変なことが起きたって／君の足のその下には／とてもとても丈夫な／「ぼね」がついてるんだぜ／押しつぶされそうなそんな時だって／ぐつとひざ小僧に勇気をため／その時を待つのさ」「ぼよんと高く飛び越えてゆこう笑顔で待ってる君がいる」

城山高校で3年間色んな経験を積んだ皆さんなら、どんなことでも飛び越えられます。これからの人生が、笑顔で、幸多からんことを願っています。元気でね、ありがとう。

3年学年主任 小野川 由理

3年次生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この学年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を目の当たりにし、せっかくの高校生生活は我慢の連続でした。三年間を振り返り、「何ちゃあなかった」と思う人も中にはいるかも知れませんが、人生はすべて「感じ方」しだい。その人の「感じ方」一つで、同じ一日が「いい日」にも「悪い日」にもなるってことです。例えば、「当たり前」だと思って過ごす日常に、ほんの小さな「ハッピー」や「ラッキー」を発見できたらどうでしょう。不満を述べてはムスツとしている自分と、小さな喜びに感激している自分。どちらの反応に好感が持たれるでしょう。これからは少し意識して、ちよつとオーバーなくらいに感動し、心をもっと豊かに育ててみませんか。想像しただけでも、ワクワクして楽しくなるのではないでしょう。か。

皆さんの人生が明るく晴れ渡りますように、応援しています。

ダメダメでも夢が叶う「のび太」が教えてくれたこと／横山泰行氏著書より一部引用

修学旅行へ3年次生

12月12日(月)～14日(水)

年の瀬も近づいた12月12日～14日、3年次生は一年先延ばしになっていた修学旅行へと旅立ちました。期待に胸膨らませて東京行き飛行機に乗り込むと一時間余りで羽田に到着。そのまま東京を抜けて一路横浜へ。昼食は美味しい中華料理をたらふくいただき、その後はカップヌードルミュージアムで思い思いのカップラーメンを自作、最後は赤レンガ倉庫でおしゃれな夜の横浜を楽しみました。

二日目は、修学旅行のメインイベント、朝9時から夜9時まで丸一日の東京デイズニードです。時は12月、天に届くほどの大きなツリイを始めとしてクリスマス一色に彩られたなか、午前中の雨をものともせず、それぞれ自由に夢の国を満喫しました。

最終日、まずは浅草寺で煙を浴び、仲見世からお台場を散策しました。そしてまだ東京に大きく未練を残したまま再び羽田空港へ。あつという間の三日間の旅終了です。

この三日間一人ひとりがしっかりと自覚を持って行動し、規律ある集団行動を実現して、大したトラブルもなく帰ってこられたことは素晴らしいことです。4月からの自立した新しい生活に向けて大きな自信となりました。



●ホームマツチ

本年度2回目となるホームマツチが実施されました。
12月22日(木)

年次団対抗によって争われ、春のホームマツチからの連覇をかけた3年次団、それを阻む1・2年次団と、それぞれが練習の成果を発揮し、熱戦を繰り上げました。どの年次団も、仲間とともに喜びあい・声援をかけあいながら、楽しく競技が行われ、このホームマツチを機に生徒たちの関係は一段と深まったように見えました。結果は3年次生が最後のホームマツチを総合優勝という形で有終の美を飾ることができました。おめでとうございます。



なお、各競技の成績順位は、次の通りです。

バドミントン 1位

3年島崎・長野ペア

バレーボール 1位

3年Aチーム

「本田・川口・東村・長谷川(太)

長谷川(大)・山下」

レクリエーション 1位

2年小松・小田ペア

総合優勝 3年次団



●ボランティア週間

12月12日(月) 1・2年次生
12月15日(木) 3年次生

ボランティア活動を通して、生徒に社会奉仕の精神を育成し、将来の地域や社会の担い手としての自覚を深めることを目的として、赤岡町周辺の清掃活動を実施しました。12月の寒い時期でしたが、清掃活動が始まると、率先してごみ拾いに取り組んでくれる生徒、ごみ袋からごみが溢れるほど集めてくれた生徒などいました。「外で活動するのは楽しい」「こんな活動をもっとしたい」などの意見もありました。集まったごみの収集は香南市環境対策課に協力いただき、地域一体となった活動になりました。



●課題別研究発表会

1月18日(水)

この1年間の総合的な探究の時間を中心にそれぞれの学年や文化部等が取り組んできた内容を発表するために令和5年1月18日(水)の午後「令和4年度課題別研究発表会」を開催しました。この発表内容は赤岡中学校へも同時配信することができました。

当日は学校長挨拶のあと1年次生がインターシップのまとめを発表後、2年次生が職業しらべを代表が発表し、福祉型の教科発表、家庭クラブ発表そして放送部発表、最後に3年次生代表が進路について発表しました。最後に教頭先生が講評を行い、無事終了することができました。



●第3回防災訓練

1月11日(水)

本校は災害発生後に地域の方が避難する場所に指定されています。その際の避難所運営マニュアルや避難所を設営するための行動を考える機会として、香南市防災対策課の田村紘規さんを講師に迎え「大規模災害における避難所の運営について」というテーマで講演を行いました。

防災対策課の主な取り組みや、ハザードマップ、避難所の運営についてなど、生徒に分かりやすく、具体的にお話をいただきました。事後アンケートでは、9割の生徒が、避難所の運営について理解でき、実際に避難した後の行動や対処法がイメージできたと回答しており、更に生徒たちの防災意識が高まったのではないかと思います。中でも、津波のシミュレーション動画が印象に残っているようで、本校を拠点にして、ハザードマップや避難所開設などについて話してくれたので、非常に身近に感じたという声もありました。今後も生徒が身近に感じ、危機感の持てるような防災訓練を実施したいと思います。



大会戦績

バスケットボール部

2022 高知県U18バスケットボールリーグ戦

1月29日(日)

城山 71 - 51 山田

城山 71 - 37 安芸

・桜ヶ丘



令和4年度「南海トラフ地震に備えよう！」
啓発ポスター・標語コンクール

【標語部門】高等学校の部

1月22日(日)

佳作

訓練が 地球を守り 身を守る

2A 澤村 藍里



令和4年度高知県高等学校
学校生徒研究発表大会
ホームプロジェクトの部

優秀賞

1月11日(水)

1B 戸田 雄大



令和4年度 学校評価アンケート

実施日：令和5年1月12日～令和5年1月20日

対象者：生徒70名（回収率97%）・保護者43名（回収率60%）・教職員23名（回収率100%）

■ そう思う

■ ややそう思う

■ あまりそう思わない

■ そう思わない

	生徒	保護者	教職員	
質問_1 生徒（あなた・お子様）は、充実した学校生活を送っていると思いますか。				肯定的評価が過半数を占めている。昨年度と比較して、生徒と保護者はほぼ同評価で80ポイントを超えている。一方、教職員は19.5ポイント増加しているが、69.5ポイントと肯定的評価は低い。
質問_2 学校は分かりやすい授業（基礎学力の定着や実力の向上につながる授業）に努めていると思いますか。				全ての対象で高評価である。生徒は8.2ポイント、保護者は5.6ポイント増加した。これは教職員が日々ユニバーサルデザイン化した授業が進んでおり、その成果が表れていると考えられる。
質問_3 本校は、生徒に人権を尊重する意識・感覚を育てようとしていると思いますか。				肯定的評価が過半数を超えている。昨年度と比較して、生徒はほぼ同評価で80ポイントを超えており、保護者の肯定的評価も6ポイント増加した。しかしながら質問10で「いじめ・暴力行為を許さない学校づくり」への要望が高いことを考えると、安心・安全な学校生活を送るための指導や支援体制のさらなる充実が求められることがわかる。
質問_4 本校は、就職・進学など、生徒一人ひとりの希望に応じた進路指導ができていると思いますか。				肯定的評価が過半数を占めている。昨年度と比較して、教職員は同評価であるが、生徒は1.8ポイント、保護者は1.2ポイント増加した。今後も3年次生に対する計画的な進路指導、2年次生の進路意識醸成、1年次生の進路指導など、細やかな指導・支援をさらに推進する必要がある。
質問_5 生徒は、自分たちのクラスで楽しく過ごせていると思いますか。				肯定的評価が過半数を占めている。昨年度と比較すると、保護者と教職員はほぼ同評価だが、生徒は7.2ポイント減少した。質問1でも「充実している」と実感できている生徒が少し減少していることから理解できる。今後は教職員がこの結果を受け止め、生徒が充実した学校生活を送れるよう細かな配慮等が必要である。
質問_6 生徒や保護者からの連絡・相談について、本校は適切に対応していると思いますか。				全体的に肯定的評価が過半数を占めている。昨年度と比較すると生徒、保護者、教職員ともほぼ同評価である。質問4と同様に今後も細やかな進路指導や生活指導等が必要であろう。
質問_7 本校は基本的な生活習慣（生徒の態度、服装、挨拶など）を身に付けられるよう適切な指導を行っていると思いますか。				全体的に肯定的評価が過半数を占めている。昨年度と比較すると肯定的評価は生徒、保護者ともほぼ同評価で80ポイントを超えているが、教職員は21.3ポイント減少している。服装等外から見える乱れ等が目立ち、遅刻・欠席など基本的な生活習慣が心配される点の現れではないだろうか。
質問_8 生徒の学校内での生活態度は良いと思いますか。				質問中、教職員からの肯定的評価が一番低い。昨年度より32.3ポイント増加しているが、生活態度が「とても良い」とは言えない状態であろう。生徒からの評価も全体的には昨年度と同評価ではあるが否定的な意見も多い。教職員からは質問10で「社会のルールや校則の指導に力を入れる」の要求評価が高いであろう。
質問_9 本校は、生徒の意見や要望を取り入れた学校づくりをしていると思いますか。				肯定的評価が過半数を超えている。昨年度と比較すると、生徒、保護者、教職員ともほぼ同評価である。どうやら城山高等学校が安心・安全な学校になるかということを生徒自ら考え発信できる仕掛けづくりを来年度設定できたら良いと思われる。
質問_10 次の項目のうち、これから特に学校が力を入れる必要があると思う項目を3つまで選んで答えてください。				昨年度と同様に生徒からは「わかりやすい授業をする」に、保護者からは「進学・就職」に力を入れてほしいという要望が上位にある。学校教育の本質に期待する様子がうかがえる。教職員にとっては「社会のルールや校則」に力を入れたいと考えており、校内ルール等の遵守に多くの労力がかかっている状態がわかる。また生徒、保護者の要望2位となっている「いじめや暴力行為を許さない学校づくり」を進めていくためには生徒の意見・そして保護者の意見も取り入れながら協働した学校づくりを推進していく必要がある。